

Affiliated with the International Association  
THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO HACHIOJI  
Chartered October 30, 1994



〒 192-0906  
東京都 八王子市北野町 575-22  
並木 真 TEL : 090-4314-3044  
Fax: 042-649-5276  
E-mail : m.namiki1020@heartbeat@gmail.com

2024年4月

The Service Club of The YMCA

第346号

## 東京八王子ワイズメンズクラブ

会長	並木 真	国際会長 ウルリック・ラウリドセン (Denmark) 主題「輝かそう、あなたの光を」 スローガン「良いコミュニケーションは、全ての協力関係の基礎である」
副会長	久保田 貞視	アジア太平洋地域会長 利根川 恵子 (川越) 主題:「変革のための光となろう」 スローガン「親睦を通して、輝き、力を得よう」
書記	小口 多津子	東日本区理事 山田 公平 (宇都宮) 主題:「未来のために今、学びと気づきを！ 未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う！」
会計	長谷川あや子	スローガン「ユースアクションをワイズの主要な活動の一つに」
直前会長	花輪 宗命	あずさ部部長 森本 俊子 (長野) 主題「よい結果をもたらす心の安定と考える力を ～面白くと思えることを再発見しよう～
担当主事	菅野 牧夫	八王子クラブ会長 並木 真 主題「リアルな活動とつながりを！出来ることをやる！」
プリテン	山本英次 大久保重子	

### 2024年4月例会プログラム

日時:2024年4月13日(土)

#### 1. ゴミ拾い運動

「東日本区提唱プロジェクト Week for Waste」

日時:4月13日(土) 16:00~17:00

場所:北野事務所周辺

内容:北野事務所周辺のゴミ拾いをします

#### 2. 4月第一例会

日時:4月13日(土) 18:00~20:00

場所:八王子市北野事務所大会議室

担当班:C班・山本、大久保、並木(信)

<プログラム>

受付:大久保、並木(信) 司会:山本

- ・開会点鐘 会長・並木 真
- ・ワイズソング 一同
- ・ワイズの信条 一同
- ・聖書朗読・開会祈祷 並木(信)
- ・ゲスト・ビジター紹介 会長・並木 真
- ・卓話「能登半島地震被災者に寄り添う支援活動」に携わり、見たこと、聞いたこと、やったこと、思ったこと」

中里 敦 氏(東京YMCA 主事)

- ・諸報告 (会長・YMCA・各担当者他)
- ・スマイル 大久保
- ・ハッピーバースデー 会長・並木 真
- ・閉会点鐘 会長・並木 真

## 巻頭言

### チャリティーコンサートを終えて

会長 並木 真

3月9日(土)、5年ぶりとなる「チャリティーコンサート」を無事に終えることが出来ました。「無事に」というより、満員御礼、相当上出来に終えることが出来たと思っています。これも、以前からご支援下さっている他ワイズクラブのみなさま、チャリティーに関心をお持ち頂き、会場に足を運んで下さった近隣にお住いの方々、そして、何回もの中止のご連絡を差し上げても、出演依頼を受けて下さった出演者(奈良原繭里さん、笹川哲史さん、中山博之さん)がおられたからです。また、当日の会場づくり、受付、片付けなど一緒に行ってくれた、中央大学国際ボランティアサークル「ひつじぐも」のメンバーの協力にも、とても感謝しています。

コンサート準備は、前年の5月から始まりました。日程

### 今月の聖句 (2024年4月)

何事も思い煩ってはなりません。どんな場合にも、感謝を含めて祈りと願いを献げ、求めているものを神に打ち明けなさい。そうすれば、あらゆる人知を超えた神の平和が、あなたがたの心と考えとをキリスト・イエスにあって守るでしょう。

(新約聖書・フィリピの信徒への手紙 4:6~7)

を決めて、出演下さる方の選出、依頼など。日程は、前年次期会長、次期主査の研修があった3月第1週目の土曜日は避けて、3月9日(土)通常では第一例会を行う日程で決めました。話し合いの当初、久しぶりでみんな不安でいっぱい。「200人来れば上等だ。」「もう以前のよ

うにチケットは売れない。」  
「絶対300人なんて無理だ。」なんて発言がちらほら。私は「そんなに苦労するコンサート、どうしてやるんですか。」  
「300人集まるように宣伝すればいいじゃないです

か。」なんてやり取りもありました。

チャリティーの目的も今年は少し変更しました。「地雷廃絶日本キャンペーン」は続けながら、続くロシアのウクライナ侵攻で日本に避難された方々への援助も加え2本立てにしました。地雷廃絶という長い取り組みへの支援と、現在目の前に避難されてきて困難に陥る方々への支援、それぞれに大きな意義があると思っています。

当日、フタを開けてみると、たくさんの方がいらして下さり、準備した椅子では座りきれないほど。ホッとした気持ちと、喜びが溢れてきました。地雷廃絶日本キャンペーン監事山口誠史様のご挨拶にチャリティーコンサートの意義を新たに思いましたし、奈良原繭里さんの歌声、笹川哲史さんのバイオリン、中山博之さんのピアノの演奏も素晴らしく、心からコンサートを堪能しました。

今回初めてこのクラブのチャリティーコンサートを経験しました。このコンサートは、近隣の方々と楽しいコンサートを通して、「世界の隣人のための活動を考え、支援する」活動だと思いました。また来年も楽しみです。

## 東京サンライズクラブ35周年記念例会

久保田貞視

3月23日(土)開催された東京サンライズクラブ設立35周年記念例会に当クラブより、並木真会長、長谷川ワイズ、小口ワイズ、久保田が出席しましたので概況報告いたします。

11:30 開会点鐘、ワイズソング、長津会長の挨拶に続き、原俊彦ワイズ(現富士五湖クラブ)が追悼の言葉として1月に逝去されたチャーターメンバーの小山憲彦ワイズの生前のワイズへの貢献、クラブだけでなく東日本区事務所長やあずさ部のリーダーとしての活躍に謝意表明し、哀悼の意を表されました。続いて故小山憲彦ワイズの夫人小山久恵ワイズより感謝の言葉がありました。その後、山中湖センター100周年記念献金を長津会長より鳩山東京YMCA主事に手渡されました。そしてメモリアルアワーでは東京サンライズの歴史と共に歩んできた憲彦ワイズを含むクラブの集合写真を流されました。

第二部の懇親会に入り、祝辞はまず、IBCの台湾ユニオンクラブ会長ケネス・ウォングの祝辞とお嬢さん・ショーンさんの通訳があり、続いてDBCの京都プリンスクラブと東広島クラブの会長による祝辞。江東クラブの鈴木雅弘ワイズの獅子舞披露と乾杯で飲食の時間となり、自由な交流の時間となりました。料理にはカネをかめたと思われ美味しい料理に参加者は満足感を得たようでした。途中、出席クラブの紹介、6月の十勝での東日本区大会のアップールがあり、14:30に実行委員長の江原修一ワイズの感謝の言葉でお開きになりました。参加者はあずさ部に限らず、他部からの出席者も多く参加しました。この35周年記念例会は比較的シンプルで飾りはないが心のこもった例会でした。



大勢のお客様ご来場いただきました。



クラブ参加者：並木会長、長谷川、小口、久保田

## ひつじくも主催 「追い出しコンパ」

小口多津子

3月19日(火)夜に、中央大学ひつじくも主催の「卒業生追い出しコンパ」が今年もオンラインでありました。コロナ禍前は、飲み屋さん貸し切りでした。今は懐かしい元メンバー中塚辰生さんがこのコンパは一生懸命だったこと思い出しました。

総合司会は代表委員長の藤原直輝さん。出席者は、大先輩にあたる白羊会からの重鎮の3人、ひつじくもの大先輩たち、卒業生と在校生。中央大学このサークルの顧問の酒井教授に区ユース事業委員の衣笠ワズ、それに東京八王子クラブから、6名出席でした。

八王子クラブを代表して並木真会長の挨拶は、ひつじくもを卒業する彼らの活躍を讃えて、若さに溢れる祝辞をされ特に最後の一言は心に響きました。「…まだ就職がこれからの方、私の会社をご一考してみてください、募集をしています」。この呼びかけには、在校生もきっと目が輝かせたのではと思いました。卒業を目の前にして4月からの第一歩。大海原に飛び込むほどの気持ちの彼らに、不安が消されるほどの大きな船が近寄ってきてくれたと思ったのではないのでしょうか。

顧問の酒井教授のお話は、ご自身の体験を交えての祝辞、「悩みがあっても人に頼ることを、決して惜しまないでください」の言葉はとでも心に残りました。

同じく代表委員長の青山真之介さんが、この追い出しコンパは、「ひつじくも一年の締めくくり」でもあるので、学Yの1年間を写真と共に報告して、幅広い活躍の場が紹介されました。

学Y係というのがあって、その説明によると、季節ごとのオリエンテーションを持ち、夏は夏季ゼミで全国の学生との交流、つまり、全国の学生YMCAとの交流を持つ、ということでした。また実修所係は、八王子市の社会福祉作業所での活動を紹介されました。

私自身で忘れられないのは、前年度における東西ワズメンズクラブ主催のSDGsキャンペーン・ユースアクションのことで、全国18チームの応募の中、審査で10チームが残りました。選ばれたひつじくも、彼らの持ち込んだ課題は、「環境問題(ゴミ)啓発活動」でした。選考された各チームが活動プランに対して、支援される活動資金一律20万円を、なんと「いいえ、この課題では経費はかからないので6万円結構です」と応じたことでした。このことは、その後もとても印象的な話題となりました。その時の3年生たちが卒業です。彼ら卒業生の幸多い前途を、クラブ一同で心から祈ってやみません。

## Y's×SDGs Youth Action2024

～絆を紡ぎ結ぶ、居場所を目指して～  
スポーツを通じた地域住民と在日外国人の交流を

国際ボランティアサークルひつじくも 藤原直輝

推薦団体 八王子ワズメンズクラブ

推薦団体担当者名 衣笠輝夫 埼玉YMCA理事

### \*企画の背景や取り上げた地域課題について

近年、グローバル化や少子高齢化の影響から日本の在日外国人が増えている。しかし在日外国人が増加の傾向をたどっている一方、まだ日本語に関する彼らへの支援は乏しい。法務省による令和3年度在日外国人に対する基礎調査によると、彼らは日本語教室が少なかったり、講座料が高かったりすることに困っている。また、病気になったときにどこに行けば良いかわからなかったと答えている人も大勢いる。彼らは日本語を上手く話すことができないために、他者とのコミュニケーションをとることが出来ず、日本で頼れる人がいない状態になっているのだ。さらに、同じ人種の方同士のコミュニティーは形成されているものの、地域住民との交流が進んでいない現状もある。

### \*課題解決に向けた具体的な活動内容

市や自治体と協力し、在日外国人や地域の住民が気軽に参加できるスポーツ大会を実施する。

### \*【活動頻度】

月1回をベースとする

### \*【活動内容】

具体的なスポーツの内容としては運動会のような玉入れや徒競走もあれば、缶蹴りのような日本の伝統的な遊びを取り入れる。また、サークルのメンバーで考えた独自の遊びも入れる予定。それにより、言語の壁を超えて地域住民と交流を行うことが出来る。

### \*【手順】

①参加者の中で国籍や年齢を混ぜたチームをつくり、各チームで勝ち点を競い合うチーム戦を行う。

②それぞれのチームにはボランティアリーダーが二人以上つくことを原則とし、基本的に日本語での会話を促す。このボランティアリーダーは地域住民からも募ることとする。

そうすることでボランティアの参加者が少ないという事態が起きないようにする。また、中高生の参加を促すことで、若い世代の在日外国人に対する意識の改善とボランティア精神の向上を目指す。

・またスポーツ大会と並行して日本語教室も開催する。  
この教室は専門的なものではなく、日本語を使った座談会のような形式とする。

可能であれば市の職員の方にも参加してもらい回をつくり、在留外国人が日常の中のような場面で壁に当たるかを直接市の職員に伝える。教室の開催日時などの情報発信は市のホームページや公式LINEを活用していく。そのためスポーツ大会参加後には、参加者に公式LINEを追加してもらう。

**\*〈手順〉**

- ①スポーツイベント参加者に公式LINEへの参加を促す
- ②LINEの日程調整機能を利用して、Zoomに参加できる人を募集する。

**\*【参加者】**

- ・在日外国人(大人・小学生以下の子供)
- ・地域住民(大人・中高生・小学生以下の子供)
- ・ボランティア(ひつじくも・学生YMCA・地域の大学生、中高生)
- ・川口市の職員

主な目的は、在留外国人が地域の住民とコミュニケーションをとれたり、在留外国人同士で悩みを共有できたりする場所を提供することである。

さらに日本語を聞いたり話したりする機会を作ることで、日本語の習得の手助けをすることも目的としている。また市や自治体と連携することで、日本での生活の悩みなどの在留外国人の声を市や自治体に直接伝えることも狙いとしている。それにより、地域住民と在日外国人との共生を目指していく。最終的には日本全体で在日外国人との共生が当たり前になる価値観を醸成していく。

**\*活動スケジュール**

5月～12月：月に1、2回スポーツ大会開催。  
スポーツ大会とは別に、月に一度日本語教室の開催。

**\*活動のSDGsの項目**

- 8 働きがいも経済成長も
- 10 人や国の不平等をなくそう

**\*協力団体**

川口市(初期段階で)

川口市は在留外国人数が全国の市区町村の中で最多であり、令和5年度現在、約3万9千人に上り、今なお増加傾向にある。また、第2次川口市多文化共生指針に記載されているように、川口市は在日外国人との共生を目指した政策を行っている。その為、私達と同じ目的意識を持ちながら活動を行うことが出来ると考えた。

川口市での活動が順調になったら、活動を全国へと広げていき、その際に各市や自治体から協力を得る。また、活動場所に近い大学にも協力してもらう。

以上

## 能登半島支援活動報告

佐藤信也

2024年1月1日に起きた石川県能登半島を震源とする地震では甚大な被害をもたらされ、依然として多くの被災者が困難な生活を余儀なくされ、復興には多くの時間を要するものと思われます。東京YMCAは日本YMCA同盟を通して輪島市から要請を受け輪島市町野町にある避難所(町野小学校・東陽中学校)に1月25日から東京YMCAスタッフを交替で派遣し、輪島市の職員とともに避難所運営サポートに従事

してまいりました。この程、私は14期目の3日間という短い期間支援スタッフの一員として参加をしました。



避難所までは飛行機で羽田空港より能登空港へ飛び、そこからレンタカーで避難所へ入りました。空港より避難所へ向かう道路はある程度整備されてはいたましたが、至る所で地震の被害にあった家屋が倒れ、窓ガラスも割れた状態で手つかずで残されていました。かけ崩れの現場などもあり車線が狭くなっている場所などもありました。



支援の働きは、避難所受付、玄関やトイレ掃除、体育館内のカーテン開け閉め、館内換気、ラジオ体操等多岐にわたっていました。支援者の一人として私が常に意識したことは、避難されている方々のお話を傾聴し寄り添う事を大切にしました。

避難所の小学校、中学校は、それぞれの避難所で雰囲気は違いましたが、出来るだけ声をひそめた生活を送られている事は共通でありました。中学校では、上下水道の復旧に時間がかかり、トイレは水洗なのに中学校は使えない状況で、屋外に設置されている移動式仮設トイレ

や施設内のポータブルトイレを利用する不便な生活環境にありました。私に関わった時期

には、仮設住宅の抽選結果が少しずつ開示される時期となり、当選した避難者がいる反面、まだ決まらぬ方もいるため、大っぴらに喜んだり、今までの人間関係を崩すのを恐れ他の方へ伝えることで状況でもありました。仮設住宅は、町野小学校裏に81戸設置され、内1戸は共有スペースで集会場の役割をもつ避難者共生地区となっているようで、早い方は3月20日から入居ができました。今回の支援活動は短い期間の支援でしたが、避難されている方々のお話を通し、心の繋がり、心のケアの大切さを改めて感じました。また、希望を持って生きようとする姿を見て私自身が勇気を頂くこともできました。貴重な経験を頂き感謝致します。東京YMCAとしての支援活動は3月末で終了し、4月以降は全国YMCAが協力して町野町での支援活動を継続してまいります。今後もこれまでYMCAが培ってきた災害支援活動の経験やノウハウをもとに、被災された方や支援者の心身の安全を最優先にした支援活動を展開してまいります。皆様のご支援を引き続きお願い申し上げます。

## 卓話者：中里 敦 さん

### 【スピーカー紹介】

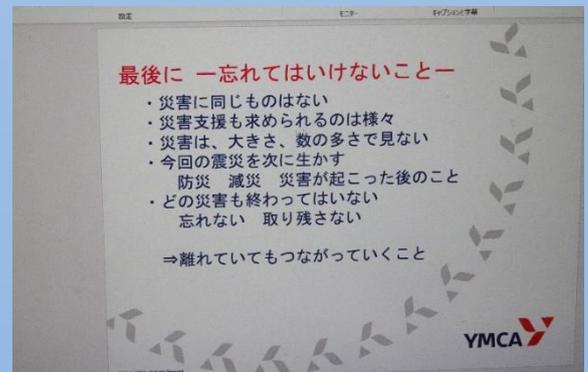
1月1日に発生した能登半島地震の支援に、YMCAは内閣府およびJVOAD(全国災害ボランティア支援団体ネットワーク)からの要請を受けました。東京YMCAでは、現地に入り、状況を確認して、1月24日から輪島市町野地区の避難所の運営支援を続けてきました。

支援スタッフは原則1週間ごとに交代していきますが、中里さんは、現地責任者として3月4日までの41した。

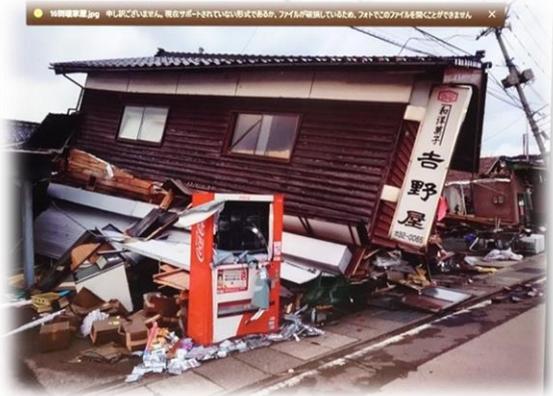
今回は、スライドを通して、支援活動の貴重な体験をお話していただきます。

### 【中里さんのプロフィール】

YMCA入職は1991年で今年33年目を迎えた。その間、八王子クラブ担当主事、山中湖センター、国際ホテル専門学校、医療福祉専門学校、しののめこども園、西東京コミュニティーセンター、会員部などを経て、4月より港区立芝浦アイランド児童高齢者交流プラザ勤務となる。趣味は健康のためにと始めたランニングだが歳を重ねるほど体力の低下を感じ無理をしないようにしている。今回の避難所生活でもランニングは継続。一緒に走ってくれる仲間を募集中！



シヨロママ提供(協賛:小口さん)



## わくわくビレッジ便り

館長:菅野牧夫

新年度を迎えました。新しいスタッフを迎えバタバタしています。今年は3月に入り寒い日が続いたことで桜の開花が遅れています。4月6日現在でまだ7分咲きといったところ。昭和のころは入学式のころに桜が見ごろになっていましたが、最近は春休みが始まる頃に桜が満開になるのでこんなに遅くなると不思議な感じです。

わくわくビレッジも早いもので開設から20年目を迎えます。昨年東京YMCA山中湖センターが100周年を迎えましたが、わくわくビレッジも1/5の歴史を刻んできました。100年同じ場所で事業を継続していくことはとても大変なことだと感じています。不変の信念や想いを持ち続け、それぞれの時代に即した課題をうまく融合してきたことで100年もの間継続することができていると思います。信念だけを貫いても風化してしまうし、新しいものを次々と取り入れても、中身の無いものになってしまいます。時代に即した課題と想いを良いバランスで取り入れて磨き続けていくことで、いつも輝き続けられると考えます。

今年度いっぱいわくわくビレッジの東京都との契約はいったん満了となります。私たちは次の10年の契約を結ぶように頑張っています。開設当初のことを知るスタッフも、退職や異動などで少なくなり、どう1人のみとなってしまいました。私自身は開設3年目頃から4年間わくわくビレッジで働き、5年前にまたこちらに戻ってきて、現在に至っています。私たちの知らない、この20年の歩みを振り返り、開設時のわくわくビレッジにかける想いを再認識して、これからの時代で必要になるものを見つけ出して、次の10年の方向性を考えていきます。山中湖センターが歴史を刻んで揺るがないものになってきたように、私たちも歴史を作っていきます。応援よろしくお願ひしま



## 東京YMCA 近況報告

担当主事 菅野牧夫

1. 輪島市の要請を受けて、能登半島地震被災地支援として、輪島市町野町の避難所(町野小学校・東陽中学校)に、1月25日から3月末までに東京YMCA各部から合計31人のスタッフを派遣した。
2. 2月28日、いじめのない世界をめざす「YMCAピンクシャツデー」が全国のYMCAで実施された。東京YMCAでも、各学校、保育園、児童館、学童クラブをはじめ各拠点で、子どもたちや教職員がいじめ反対をアピールするピンクのシャツを着用した他、いじめについて考える様々な取り組みを行い、その様子をHPで紹介した。
3. 愛恵福祉支援財団との共催で「豊かな福祉社会を創るために一わかりあえたらなあー」をテーマに実施した「第25回愛恵エッセイ賞」の表彰式が、3月9日、北とぴあ研修室、及びオンラインで開催された。一般の部、専門職の部、学生の部、外国籍の部の4部門、合わせて124人から作品の応募があり、23人が表彰を受けた。当日は八尾勝審査委員長をはじめ4人の審査委員から作品の講評があり、受賞者から一言ずつ感想が述べられた。また席上、中里敦氏(山中湖センターMD)がYMCAの能登半島地震復興支援活動について講演をした。
4. 「2023年度日本YMCAユースボランティア認証」として、全国17のYMCAで活躍するユースボランティア338人が認証を受けた。東京YMCAからも野外教育活動をはじめ各面で活躍しているユースボランティア52人が認証された。
5. 各学校の卒業式が下記の通り行われた。
  - ・社会体育・保育専門学校 3月7日 日本基督教団 霊南坂教会 卒業生79名
  - ・医療福祉専門学校 3月13日 くにたち市民芸術小ホール 卒業生52名
  - ・国際ホテル専門学校 3月19日 日本基督教団 霊南坂教会 卒業生87名
  - ・にほんご学院 3月19日 社会体育・保育専門学校演習室 卒業生38名

## 今日の聖句に寄せて (2024年4月)

私が心ふるわせられた詩をご紹介します。ご存じの方も多いことと思いますが。

### 「あしあと」(Footprints) — マーガレット・F・バワーズ(松代恵美訳)

ある夜、わたしは夢を見た。  
わたしは、主とともに、なごさを歩いていた。  
暗い夜空に、これまでの私の人生が映し出された。  
どの光景にも、砂の上にふたりのあしあとが残されていた。  
ひとつはわたしのあしあと、もう一つは主のあしあとであった。  
これまでの人生の最後の光景が映し出されたとき、  
わたしは、砂の上のあしあとに目を留めた。  
そこには一つのあしあとしかなかった。  
わたしの人生でいちばんつらく、悲しい時だった。  
このことがいつもわたしの心を乱していたので、  
わたしはその悩みについて主にお尋ねした。  
「主よ、わたしがあなたに従うと決心したとき、  
あなたは、すべての道において、わたしとともに歩み、  
わたしと語り合ってくださいと約束されました。  
それなのに、わたしの人生のいちばんつらい時、  
ひとりのあしあとしかなかったのです。  
いちばんあなたを必要としたときに、  
あなたが、なぜ、わたしを捨てられたのか、わたしにはわかりません。」  
主は、ささやかれた。  
「わたしの大切な子よ。  
わたしは、あなたを愛している。あなたを決して捨てる  
りません。  
ましてや、苦しみや試みの時に。  
あしあとがひとつだったとき、  
わたしはあなたを背負って歩いていた。」

並木信一



## ひつじぐも便り

### 2024年度新入生歓迎オリエンテーション

総合政策学部3年 折原 美結

こんにちは。副委員長兼ワイズ係を務めます、中央大学総合政策学部3年の折原美結です。今年度の最初の活動として、4月1日から6日に2024年度新入生歓迎オリエンテーション祭が行われました。4月1日から4日までは多摩キャンパスで、4月5、6日は茗荷谷キャンパスでの開催となりました。昨年度とは異なり、今年度は1年生が多く来る入学式の日にも新入生歓迎オリエンテーションを開くことが出来ました。その影響もあり、今年度の新入生歓迎オリエンテーション祭はコロナ以前と同等の賑わいを見せ、ひつじぐもでも多くの1、2年生に興味を持っていただけました。

新入生歓迎オリエンテーション祭では、チラシを配ることができ、ひつじぐもでは活動内容や新歓の基本情報を載せたチラシを作りました。昨年配ったチラシの枚数を参考にして1500枚のチラシを用意し当日を迎えました。4月1日は1年生の入学前の新入生ガイダンスがあったため、人通りが多く、沢山の1年生がチラシを受け取ってくれました。午後にはサークルの説明を聞きに来たり、相談に来たりする1年生もいました。2日は入学式だったため、家族と共に大学に来た1年生が多く、1年生だけでなく、家族の方にもサークルに興味を持っていただけました。3日からは1、2日とは異なり天候が悪く、少し人通りが少なかったのですが、3日には用意していた1500枚のチラシがなくなるほどの速いペースで配ることが出来ました。

2、3年生合わせて25人のひつじぐものメンバーが新入生歓迎オリエンテーション祭に参加し、多くの1年生にサークルの活動を知ってもらえたと思います。昨年いかに多数の1年生がサークルに入ってくれました。今年は何人の1年生がサークルに入ってくれるのかまだ分かりませんが、少しでも多くの1年生が入ってくれると嬉しいです。5月のワイズの活動でたくさんの方と一緒に行けることを楽しみにしています。



### 3月第一例会報告 書記・小口

日時/場所:2024年3月23日(土)北野事務所2F 10名出席

出席者:A班:長谷川、菅野、佐藤、小口、B班:久保田、

並木(真)、花輪、望月 C班:山本、並木(信)

#### 報告事項:

#### ① 街頭募金とチャリティーコンサートの総括

・能登半島地震被災地支援街頭募金・・・3/2(土)13:00～15:00  
JR八王子駅北口

(参加者、八王子クラブ10名、ひつじも5名、多摩スマイル綿引ワイズ、計16名)

送金募金額(街頭募金79,293円、1、2月のスマイル分26,050円、**合計額105,343円を送金済み**)

・チャリティーコンサート・・・3月9日(土)北野市民センター  
支援先/対人地雷・クラスター爆弾廃絶運動(JCBL)、ウクライナ避難者支援(東京YMCA同盟)

来場者(296名)、アンケート用紙回収160枚(来場者の半分以上)集計報告は、4月第二で花輪さん。

出席者(クラブメンバー16名、ひつじも5名、OBの宮内蒼也さん、出演者の3名)

#### ・コンサート収支報告

(収入)前売り券311枚(311,000円)、当日券78枚(78,000円)、会場募金箱(119,582円)

ご寄付4名(21,000円)、評議会利益(37,600円)・・・収入合計567,182円

(支出合計)218,710円(内訳は、報告書に)・・・**差し引き収益348,472円。**

**支援金決定:JCBLへ20万円(年会費込)、ウクライナ避難者支援へ14万円。**

#### ② 4月例会・C班<日時:4月13日(土)18時～ 北野事務所2F>

卓話:「能登半島地震被災者支援活動を経験して」

お話 中里 敦氏(東京YMCA主事)

中里さん4月の異動により「港区立芝浦アイランド」児童高齢者プラザ」にご勤務とのこと。

#### ③ W4W(Week for Waste)ゴミ拾いへの参加/4月強調月間(並木会長より提案)

実施:4月13日(土)16時～17時に4月第一例会前の時間に、場所は北野事務所周辺で1時間。

会長のついで、日本たばこ産業(JT)八王子支社への共同体験の申し出は日程の都合がつかぬかった。

しかし、JTが用具の調達をして下さり、トングを貸し出して下さることに、軍手はクラブへ頂けるとのこと。当日は、八王子市の「ボランティア袋」を用意。小雨決行。ひつじもへの呼びかけ。

#### ④ 5月例会・A班<日時:5月18日(土)10時～>

場所:高尾の森わくわくヴィレッジ

草刈とBBQのひつじも新入生歓迎会。オリエンテー

ション、グループ分け。BBQの時、皆で歌おう、ギター。会費メンバー1000円、学生500、ゲスト2000円。終了後は、4F教室でクラブ事務会。

・5月11日(土)あずさ部第3回評議会、ホストクラブは東京サンライズクラブ。

#### ⑤ 次年度クラブ運営体制・・・会長は並木真メン。次期あずさ部会員増強事業主査・・・長谷川メン

#### ⑥ プロボリストの作成(あずさ部地域奉仕活動主査の柳澤ワズより)

現在のところ、クラブからは並木真会長の1件。募集は4月末まで。

#### ⑦ 6月第一例会のこと。例会日6月8日(土)。

東京グリーンクラブ樋口会長より長谷川さんに提案、この同日に開催される「第89回神田川舟の会」(ガイド役はグリーンクラブのメンバー)これに、ひつじも学生5名を招待したいとの話がありました、クラブ第一例会日にあたり、我々も参加は?ということで賛成も多く進めることに。

#### ⑧ 東京八王子クラブ設立30周年記念会のこと

日時:2024年10月26日(土)会場、八王子エルシー、実行委員長は久保田メン。詳細は4月に。

#### ⑨ 東京サンライズクラブ設立35周年記念例会

3月23日(土)11:30～京橋モルチェ、出席:真会長、長谷川、久保田、小口の4名。以上

### 先月の例会ポイント (3月)

在籍	12名	切手	0g	計45g
メン	10名	現金		0円
メイキャップ	2名	累計		0円
出席率	100%	スマイル		0円
メネット	4名	累計		103,680円
ゲスト	3名	オークション		0円
ビジター	0名	累計		0円
ひつじも	6名			

### 今月お誕生の方

**久保田 貞視さん**

**4月8日**

# 八王子市桜名所

## 綾南公園の桜



多摩御陵近くの南浅川堤防沿いに連なる桜

## 高尾山・清滝駅の桜



清滝駅前広場をご利用の皆様へ  
このサクラは、病気・老朽化が進んでしまったため、安全管理上令和6年度内の伐採を計画しております。  
今季の開花が最後となりますので、見納めください。皆様ご理解のほど、よろしく申し上げます。

今年が最後の開花となります